

人権学習展開例（第1、2学年共通）



主題名 思いこみによる偏見

教材名 どんな 気もちかな

人権学習の視点 普遍的な視点「差別の構造」

主題・教材について

遊びは、子どもたちの生活において、人と人のかかわり方や社会生活の規範につながるルールを学ぶ大切な機会である。

しかし、子どもたちは遊びの中で、「〇〇は、・・・である。」という思いこみで人を判断してしまうこともある。そういった偏った見方が人の心を傷付けることとなり、差別を生み出す原因にもなることを学ばせたい。



ねらい

思いこみによる偏見が、差別（仲間はずれ）を生み出す原因にもなることを理解させる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○日ごろの遊びで、楽しかったときのことや困ったときのことを考えさせる。	一斉	○日ごろの遊びで、楽しかったときのことや困ったときのことを思い出して発表する。	○具体的な場面を例示しながら考えさせる。	
展開	○絵を提示し、どんな場面であるかを考えさせる。	一斉	○絵を見てどんな場面かを考えて発表する。	○吹き出しの言葉を手がかりに、描かれている場面について共通理解させる。	資料 「どんな気もちかな」
	ドッジボールに入れてもらえない二人は、どんな気持ちになるだろうか				
	○決めつけられて仲間はずれになった人の気持ちを考えさせる。	個別	○自分がこんなことをされたらどんな気持ちになるかを考え、ワークシートに書く。	○いつもこうだからという思い込みが、相手を傷付けてしまったり、仲間はずれを生み出したりする原因にもなることに気付かせる。	ワークシート
みんなが楽しく遊ぶためには、どうしたらよいだろう					
	○思いこみや決めつけをせず、人と接することが大切であることに気付かせる。	一斉	○みんなが楽しく遊ぶためには、どんなことに気を付けたらよいかを考え、発表する。 ○友達の考えを自分の考えと比べながら聞く。	○「思いこみや決めつけをせず接する」という視点を大切にして、発表させる。 ○具体的な行動で考えさせる。	
まとめ	○思いこみによる偏見が差別（仲間はずれ）を生み出す原因にもなることを理解させる。	一斉	○学習を振り返る。	○他のわかりやすい具体例を話しながら理解させる。	

評価

思いこみによる偏見が差別（仲間はずれ）を生み出す原因にもなることが理解できたか。

